

入善民報

発行 日本共産党入善町委員会
入善町舟見1415
電話・FAX 78-1606
2014年 6月25日

6月議会報告

政府は、要支援1・2の高齢者が利用する訪問介護とデ

国が要支援者のサービスを廃止、町の事業へ 健康福祉課長 サービス提供できるか課題

政府は、要支援1・2の高齢者が利用する訪問介護とデ

考えです。

松田議員は「政府は、代替サービスの担い手をボランティアなどに頼るとしているが、町ではどこが担い手になるのか。また、どのようなサービスが提供されるのか。さらに政府は、要支援者向けの給付費の削減を市町村に義務づける。これでは、サービスが低下するのは明らかではないか。町はどう対応するのか」と質



デイサービスを利用する高齢者

小堀健康福祉課長は「町内の要支援の認定者は416名で、訪問介護と通所介護の利用割合は給付費の72%だ。専

他国の戦争に参戦 若者を戦場に送るのか 集団的自衛権



松田俊弘議員

保守の重鎮4氏が安倍政権の危険性を危惧 憲法9条を守り、外交で問題の解決を

日本共産党の松田俊弘議員は一般質問で、安倍首相が狙う集団的自衛権の行使容認に対して次のように述べました。安倍首相は、日本が海外で戦争できるような憲法9条を交えるために、国会議員総数の3分の2以上の改憲要件を過半数に緩めようとした。これ



日米合同演習 (沖縄タイムズより転載)

には、改憲論者の憲法学者も厳しく反対した。元自民党幹事長でもある野中広務元官房長官は「いまの日本のあり方が恐ろしい」と述べ、「戦争はやりません、憲法は変えません。その思いを新たにすべきであってほしい」と首相を批判した。また、自民党の古賀誠元幹事長は、改憲の要件緩和について「絶対にやるべきではない」「憲法はわが国の最高法規だ。他の法規を扱う基準と

団的自衛権の議論は、やり出すと徴兵制まで行き着きかねない」と述べている。さらに、河野洋平元衆議院議長は「あからさまに中国が仮想敵国になっている。集団的自衛権より、外交できちんと隣国との間で話をするのが何より先だ」と述べた。4氏に共通しているのは、憲法9条を守り、外交で問題

民間委託 学校給食や保育所は対象にするな 聖域は設けな

町が2002年から71人も職員を減らしてきたために、約30人分の職員不足が明らかになりました。

町当局は、今後、10人程度を増員し、残りは組織機構や事務事業の見直し、民間委託や職員の能力向上で対応するとしています。松田議員は「民間委託は、子どもの健康や命にかかわる大きな課題だ。適切にサービスを提供していただけるのか、今後検討する」と答えました。

町議補選に井田よししたか氏を擁立

日本共産党入善町委員会は、8月3日に行われる町議会議員補欠選挙に、飯野地区芦崎



井田義孝氏

員補欠選挙に、飯野地区芦崎に在任の井田義孝氏を擁立することを決定しました。今回の補欠選挙は、現職議員の死去による欠員と、同日に行われる町長選挙に現職議員が立候補を表明し辞職した

5月31日付けの朝日新聞夕刊に「漁村からデモクラシーのうねり」と題して、大正7年に起こった

魚津の米騒動の記事が載っていた▼日本軍のシベリア出兵で米価が高騰し、生きるために必死だった漁民の妻たちが魚津の港からの米の積出しを阻止した。富山から全国に広がった米騒動は、時の寺内閣を退陣させた。記事では「思想家吉野作造が、米騒動の原因は民衆の要求に耳を傾けていない政府の姿勢にあると指摘」と紹介している▼今、政府は、医療と介護で大幅な「改善」を進めようとしている。介護では、「要支援者」向けの訪問・通所介護を市町村事業に丸投げし、施設入所者の居住費・食費の補助は縮小、2割の利用者でサービス利用料の負担を2倍にする。医療では、患者7人に看護師1人の病床を、4分の1に当たる9万床も減らす。病床の再編や縮小に従わない病院にはペナルティーを課す、などなど▼これでは「医療難民」「介護難民」を増やすだけである。地域で安心して暮らしてはいけない。医療や介護の関係者からは、厳しい批判の声が上がっている。「消費税増税は社会保障のため」とはだれの言葉だったか。国民の言葉に耳を傾けない政府に未来はない。それは歴史が示している。

臨時保育士の待遇改善で 保育所の入所制限の解消を

女性が安心して働ける場と子育て環境整備は重要 総務課長 4月に続き6月にも賃金を引き上げた



松田俊弘 議員

若い女性が都市部に集中し、地方の人口減に拍車をかけていると報道されています。

松田俊弘議員は「女性が安心して働ける場と、子育て環境の整備が重要だ。町の臨時保育士は38人だが、賃金は10年勤務しても、正規職員のわずか64%だ。これが臨時保育士の確保を困難にし、保育所

六月議会報告

の入所制限が解消できない原因となつている。町は子育て支援の考えが希薄ではないかと述べ、臨時保育士の抜本的な待遇改善を求めました。大角総務課長は「臨時保育



子どもたちの世話をする保育士

士の賃金は、4月からの引き上げに続き、6月からさらに

児童保育 高学年の入所は保護者の願い 本気になって受け入れ体制づくりを

国は、児童保育の実施基準を新たに定めると同時に、市町村が条例を制定し、責任を明確にするよう求めています。松田議員は「対象児童は、おおむね小学校3年生までだったのが6年生までとなった。6年生まで受け入れる考えはあるのか。国は、児童保育の

4%引き上げた。保育環境の充実のためにも、あらゆる方策を講じて臨時保育士の確保に努める。保育所の入所判定は、町の条例の基準に従って行っている」と答えました。

学校近くに児童館を建設してはどうか」と質しました。岩田教育委員会事務局長は「2月に実施した子育て支援に関するニーズ調査では、保護者の約1割が高学年でも利用したいとの意向だ。今後、意向調査や施設の状況などを踏まえ各運営委員会と協議を進めていく。桃李小学校に隣接しての児童館建設は、非常に困難だ」と答えました。松田議員は「桃李小の児童



桃李小学校の学童保育

舟見本陣の一部が、茶室・武者だまり 歴史的建造物の有無の検証を

松田議員は、「舟見の本陣や武者だまりを、専門家に調査してもらってはどうか。魚

が供給されなかったためだとして、この点についても、当会は、自然流下による最良の排砂方法を確立することであると云ってきた」と述べ、排砂の改善を求めました。

津市で御塩蔵と思われる建築物が発見された。専門家による調査で加賀藩時代のもの可能性が高いと評価され、話題となっている」と質問。島教育委員長は「地域に埋もれた新たな文化資源の調査や掘り起こしは、大変重要であると考える。指摘の建造物は個人所有のものなので、調査については所有者の意向を確認し、実施するかどうか判断したい」と答えました。

宇奈月ダム湖の浚渫と排砂に関して

「黒部川・富山湾を考える会」が町長へ申し入れ

5月に開かれた黒部川土砂管理協議会では、宇奈月ダム湖上流部に溜まっている比較的大きな石を浚渫し、ダム堤体近くまで運搬し投入する方針が出されました。

すれば、ダム湖に濁りが溜まり、下流では長期間濁った状態になる可能性が高く、河川の生物や沿岸の藻場への影響が懸念される。

当会は、連携排砂後、二つのダムの排砂ゲートを開放して、自然流下を1週間（少なくとも3日間）は続けるよう求めてきた。それは、本川の清流を早く取り戻し、かつ、岩や石を下流に運搬させる自然の力を活用するためである。年に1度でなく、大雨のたびに排砂を行い、かつての黒部川の自然に少しでも近づけることが必要だと考える。

この申し入れには、松田町議も同行しました。



右奥から稲葉氏、松田町議、井田氏

4月22日、「考える会」の稲葉元一代表委員や井田義孝事務局長等が、黒部川河川事務所へ申し入れを行いました。申し入れで同会は「ダム排砂は、いまだに有効な方法が確立されていないと考える。国交省は、愛本床止工が壊れた原因は、大きな石などの礫

6月議会の一般質問で松田議員は、「考える会」の申し入れで質問しました。米澤町長は「様々な角度から検証や研究を重ね、より良い方法を探っていくことが重要」と答弁。窪野建設下水道課長は「今後とも漁業者の声を聞いていく」と答えました。

宇奈月ダム湖上流部を浚渫



右奥から九里氏、井田氏、松田町議

には、自然の浄化力に依拠す

議会は、海面漁業者から抜本的な排砂の改善を求める新

たな要望が出されています。

6月議会の一般質問で松田議員は、「考える会」の申し入れで質問しました。



舟見本陣の茶室が